

不明疾病の現地調査表について (病鑑No.7)

農場住所：児湯郡都農町大字川北

(1例目の発生農場から約600m)

氏名：

飼養頭数：水牛42頭

豚2頭

経緯：

3月26日 搾乳水牛2頭が発熱・乳量低下により、獣医師が診療。
2～3日後同様の症状が拡大(流涎や口内炎、乳房の皮膚の剥離が一部みられていた)

31日 獣医師からの依頼で家畜保健衛生所が立入。

- ・搾乳水牛及び雄水牛全頭に症状が拡大し、食欲廃絶で搾乳不能になった個体が多く、一部下痢を確認。
- ・この時点で口蹄疫の症状は認めず、畜主及び獣医師からも申し出はなかったため、3頭の血液・鼻腔スワブ・糞便を採取し、下痢関連ウイルスのPCR検査、ウイルス分離、細菌検査、寄生虫検査を実施。

4月2日 PCR検査の結果を獣医師に回答。

4月5日 獣医師からほとんどの個体は解熱したが、食欲が回復していない個体の乳房に痂皮が形成されているので、敷料(ノコクズ)によるアレルギーを疑っているとのこと。

4月14日 家保が再度立入。3月31日採血した中の1頭を採血。
子牛も泡状の流涎、熱は3日程度で下がる。乳量の回復した水牛もいるが、乳質が変化(脂肪分が減少)し、以前と比べ粗毛。

4月21日16時40分 1例目の疫学関連で家保が立入り聴取。
現在、全頭回復しているが、3月31日の聞き取り内容と一部異なる内容があり、口蹄疫を疑う症状があった可能性が示唆。

4月22日14時 再度立ち入り5頭の血液を採取。臨床的に異常は認めず。

今後の対応：血液と3月31日に採取の鼻腔スワブ3検体と併せて動物衛生研究所に病性鑑定依頼。スワブのPCR、血清抗体検査の結果をみて、場合によってはプロバング検査を実施する。

飼料購入先：

- ・ オーツヘイ(オーストラリア)チモシー(カナダ)
- ・ *中国産の使用なし
- ・ トウモロコシ
- ・ -ロールベール

家畜の導入

- ・ H21年5月オーストラリアから5頭輸入、家保が着地検査を実施。

検体リスト

| 検体No. | 農場識別 | 血液 | 鼻腔スワブ | 備考 |
|-------|------|----|-------|--------|
| 1 | 34 | ○ | | 4/22採材 |
| 2 | 35 | ○ | | 4/22採材 |
| 3 | 40 | ○ | | 4/22採材 |
| 4 | 29 | ○ | | 4/22採材 |
| 5 | 548 | ○ | | 4/22採材 |
| 6 | 雄 | | ○ | 3/31採材 |
| 7 | 618 | | ○ | 3/31採材 |
| 8 | 534 | | ○ | 3/31採材 |

(No.6)

病性鑑定依頼：， 材料授受：2010. 4. 22, 23:25

進行状況 (2010. 4. 23, 16:15)

| 検体No. | 農場識別 | 血液 | 鼻腔スワブ | RT PCR 3 D | Virus isolation | LPBE | 備考 |
|-------|------|----|-------|---------------|--------------------|------|--------|
| 1 | | ○ | | | N | 継続中 | 4/22採材 |
| 2 | | ○ | | | N | 継続中 | 4/22採材 |
| 3 | | ○ | | | N | 継続中 | 4/22採材 |
| 4 | | ○ | | | N | 継続中 | 4/22採材 |
| 5 | | ○ | | | N | 継続中 | 4/22採材 |
| 6 | | | ○ | + | 継続中 | 継続中 | 3/31採材 |
| 7 | | | ○ | - | N | 継続中 | 3/31採材 |
| 8 | | | ○ | - | N | 継続中 | 3/31採材 |

+: 陽性, -: 陰性, N: 実施せず